

まちづくり町民アンケート
調査報告書

令和元年11月

板倉町

目次

| | | |
|-----|---|----|
| 1 | 調査の概要..... | 1 |
| | (1) 調査目的..... | 1 |
| | (2) 調査の概要..... | 1 |
| | (3) 本調査結果報告書の留意点..... | 1 |
| 2 | 調査結果..... | 2 |
| I | 回答者の属性..... | 2 |
| | (1) 性別..... | 2 |
| | (2) 年齢..... | 2 |
| | (3) 居住年数..... | 3 |
| | (4) 居住している行政区..... | 3 |
| | (5) 家族構成..... | 4 |
| | (6) 主たる職業..... | 4 |
| | (7) 勤務先・通学先..... | 5 |
| II | 町のことについて..... | 6 |
| | 問1 あなたは、板倉町を暮らしやすいまちと感じていますか。..... | 6 |
| | 問2 あなたは、板倉町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。..... | 6 |
| | 問3 あなたは、今後も板倉町に住み続けたいですか。..... | 7 |
| III | 町が行っている取組への重要度と満足度について..... | 9 |
| | 問4 各項目について、あなたの重要度と満足度を選んでください。..... | 9 |
| | (1) 単純集計..... | 9 |
| | (2) 重要度と満足度の関係..... | 12 |
| | (3) 重要度と満足度の関係（男性）..... | 14 |
| | (4) 重要度と満足度の関係（女性）..... | 15 |
| | (5) 重要度と満足度の上下3項目（男性）..... | 16 |
| | (6) 重要度と満足度の上下3項目（女性）..... | 17 |
| | (7) 問4の個別事業について（自由意見）..... | 18 |
| IV | 公共施設の利活用について..... | 21 |
| | 問5 小学校統合後の廃校後の利活用案について（自由意見）..... | 21 |
| | 問6 資源化センターの利活用案について（自由意見）..... | 22 |
| V | その他..... | 23 |
| | 問7 板倉町の好きなおとろやもってPRできるところについて（自由意見）..... | 23 |
| | 問8 板倉町がめざすまちづくりについて（自由意見）..... | 25 |
| | 問9 まちづくりを進めていくにあたり、あなたのイメージに近いキーワード..... | 27 |
| 3 | 合併に関する意識調査..... | 28 |
| | 問1 合併についての考え..... | 28 |
| | 問2 館林市との合併について（自由意見）..... | 29 |

| | | |
|---|------------------------|----|
| 4 | 調査結果のまとめ..... | 30 |
| | (1) 回答者の属性について..... | 30 |
| | (2) 町のことについて..... | 30 |
| | (3) 町が行っている取組について..... | 30 |

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、令和2年度を始期として、8年間のまちづくりの基本的な指針となる新たな総合計画「板倉町第2次中期事業推進計画（令和2年度～令和9年度）」及び「第2次板倉町総合戦略（令和2年度～令和6年度）」の策定にあたって、町民の皆様からのご意見やご提示をいただき、将来のまちづくりに反映させていくことを目的に実施しました。

(2) 調査の概要

| | |
|-----------|-----------------|
| 調査地域 | 板倉町全域 |
| 調査対象 | 板倉町在住の満18歳以上の町民 |
| 調査方法 | 直接配布、直接回収 |
| 対象者数(配布数) | 4,310人 |
| 抽出方法 | 各行政区長経由による全世帯配布 |
| 有効回収数 | 3,849人 |
| 有効回収率 | 89.3% |
| 実施期間 | 令和元年7月～8月 |

(3) 本調査結果報告書の留意点

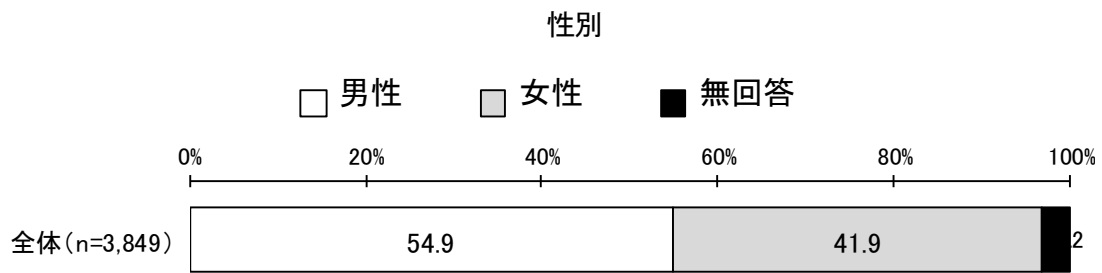
- ・回答項目の比率はすべて百分率(%)で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、合計が100.0%にならない場合があります。また、複数回答については、合計が100%を超えることがあります。
- ・図表中の「n=〇〇」とは、集計対象者総数（または分類別の該当対象者数）を示しています。そのため、性別等の回答に無回答の場合は集計対象とならないため、分類別の該当者数を足し上げても総数とは一致しないことがあります。
- ・単数回答は帯グラフ、複数回答及び項目数の多い単数回答は棒グラフとなっています。棒グラフは、高い割合の項目がわかりやすいようにすべて割合による降順となっています。
- ・問の中には「～と回答した方におたずねします。」などいろいろな限定があり、回答者が少ない場合は、数人の違いで割合が大きく変わることがあります。

2 調査結果

I 回答者の属性

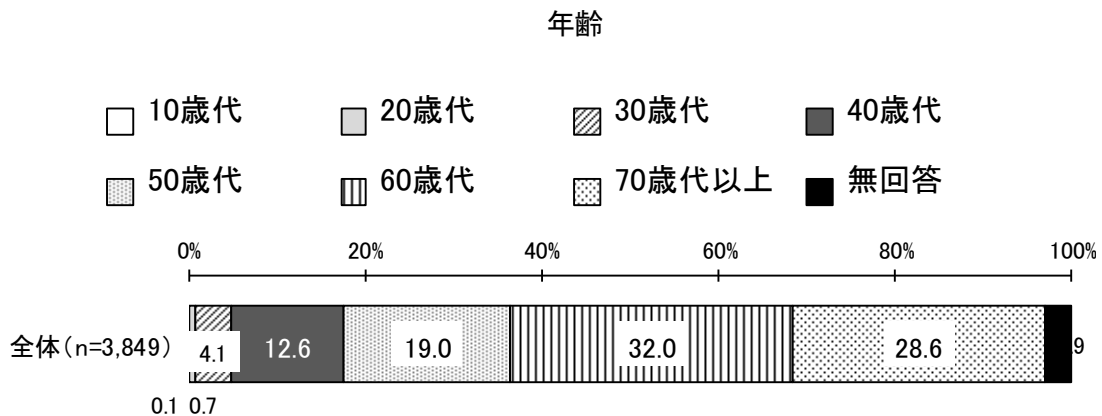
(1) 性別

「男性」が54.9%、「女性」が41.9%となっています。



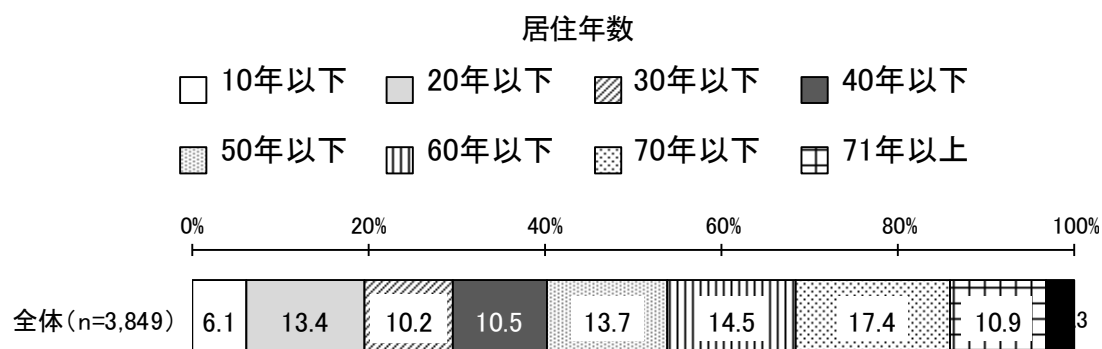
(2) 年齢

「60歳代」が32.0%と最も高く、次いで「70歳代以上」(28.6%)、「50歳代」(19.0%)の順となっており、50歳代以上が約8割を占めています。



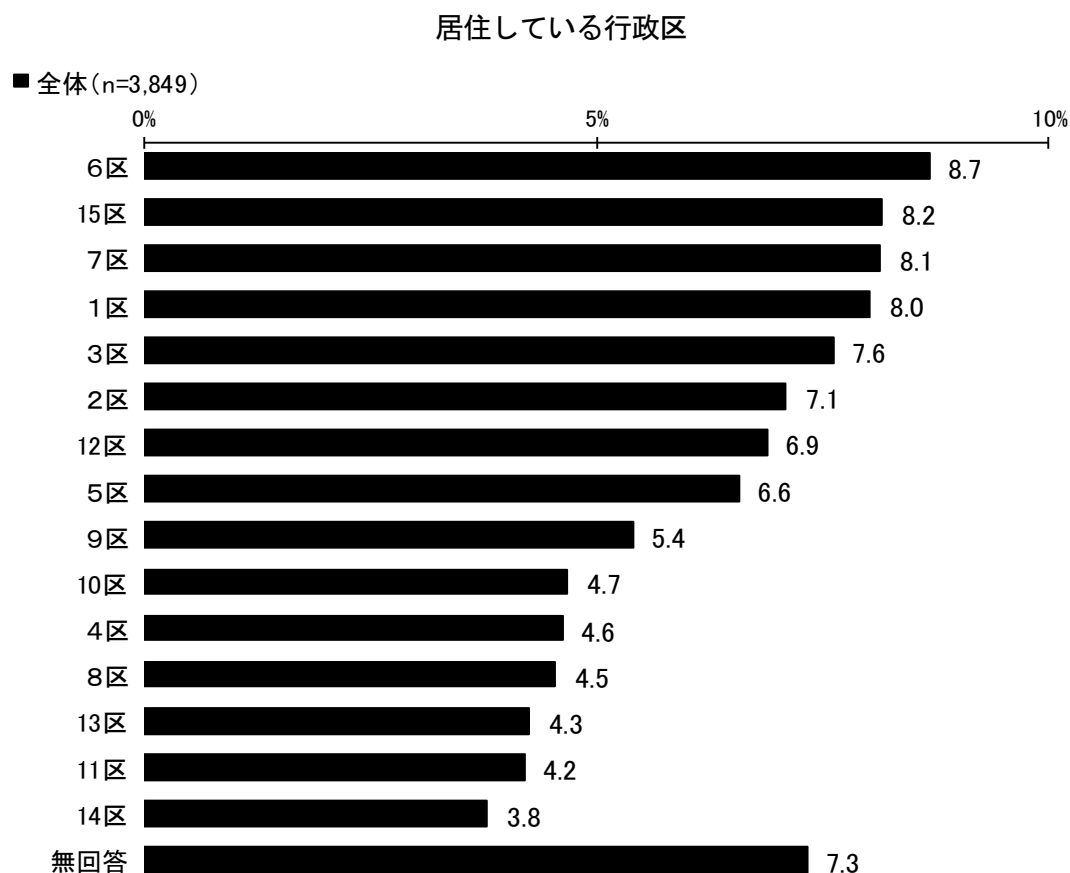
(3) 居住年数

「70年以下」が17.4%と最も高く、次いで「60年以下」(14.5%)、「50年以下」(13.7%)の順となっています。



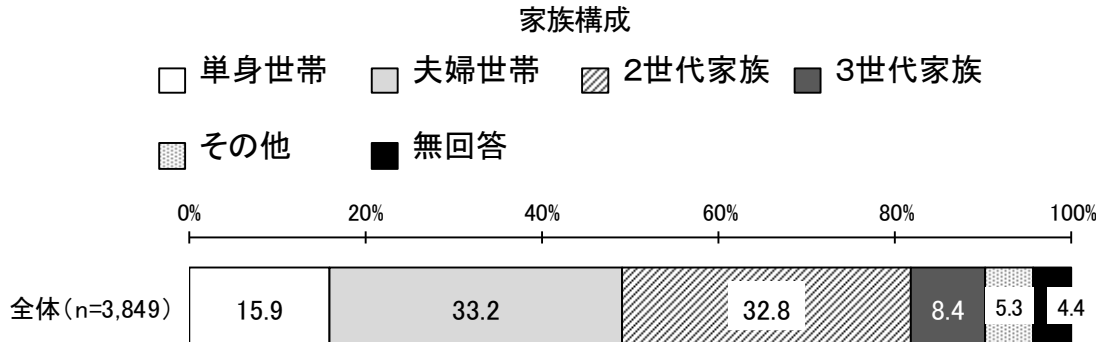
(4) 居住している行政区

「6区」(8.7%)、「15区」(8.2%)、「7区」(8.1%)、「1区」(8.0%)の順となっています。



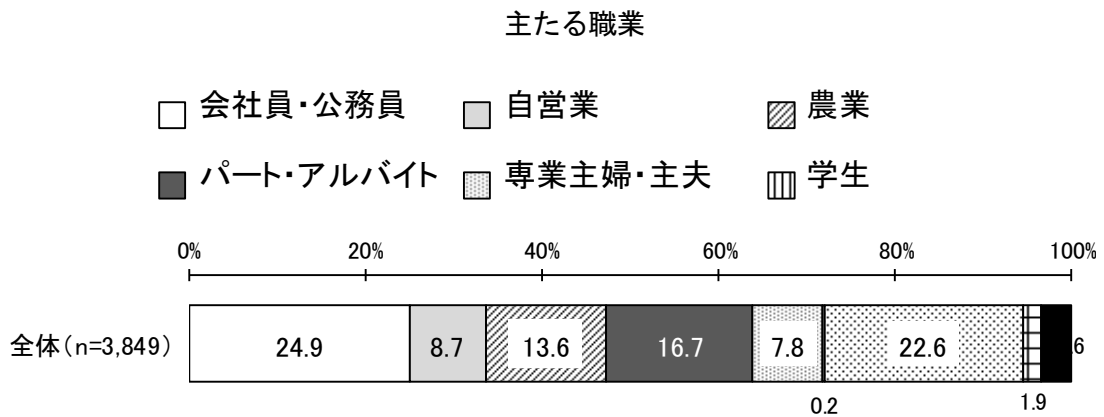
(5) 家族構成

「夫婦世帯」が33.2%と最も高く、次いで「2世代家族」(32.8%)、「単身世帯」(15.9%)の順となっています。



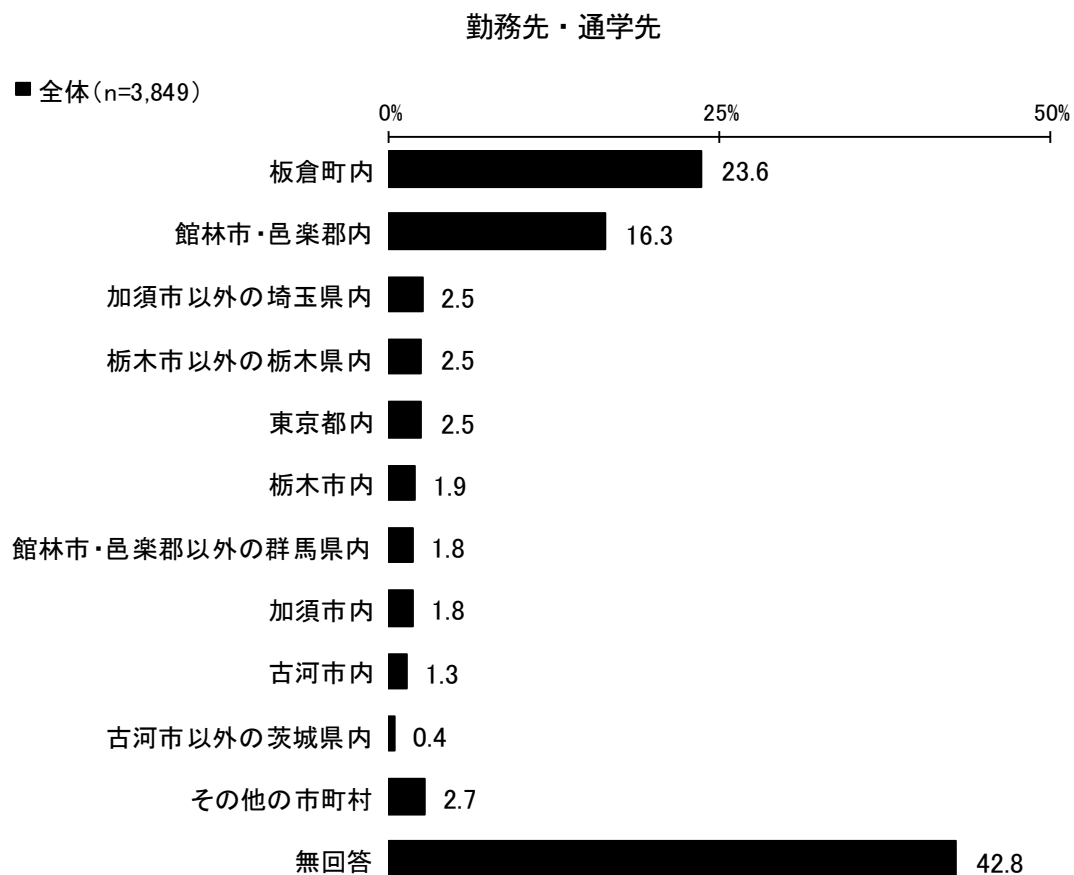
(6) 主たる職業

「会社員・公務員」が24.9%と最も高く、次いで「無職」(22.6%)、「パート・アルバイト」(16.7%)の順となっています。



(7) 勤務先・通学先

「板倉町内」が23.6%と最も高く、次いで「館林市・邑楽郡内」(16.3%)の順となっています。また、「無回答」が42.8%となっているのは、前問の「主たる職業」で「無職」や「専業主婦・主夫」、「その他」を選んだ人と思われる。

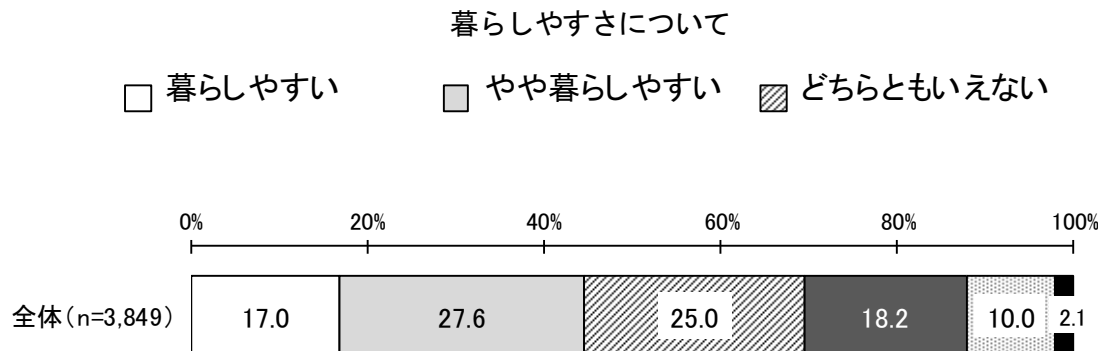


II 町のことについて

問1 あなたは、板倉町を暮らしやすいまちと感じていますか。

本町の暮らしやすさについて、「やや暮らしやすい」が27.6%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(25.0%)、「やや暮らしにくい」(18.2%)の順となっています。

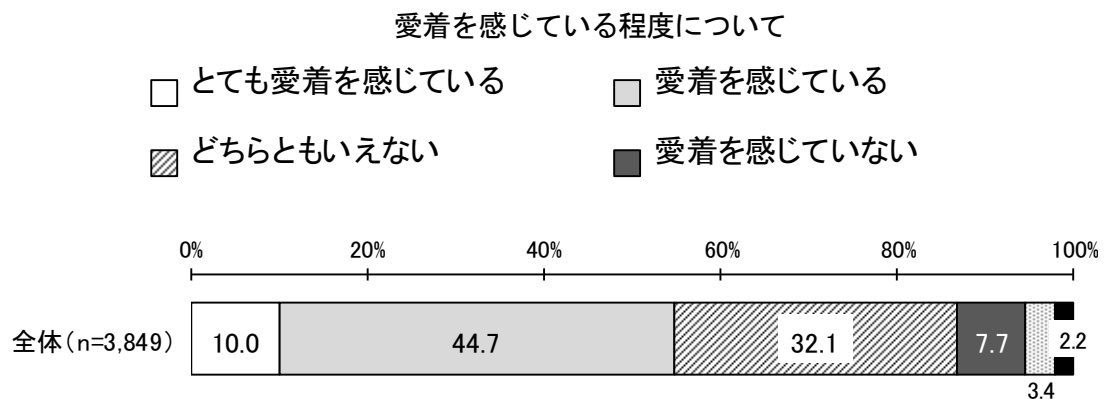
「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は44.6%、「暮らしにくい」と「やや暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』は28.2%となっています。



問2 あなたは、板倉町に「自分のまち」としての愛着をどの程度感じていますか。

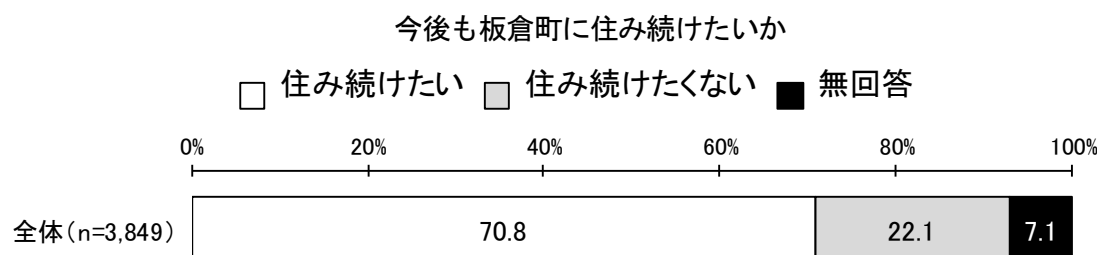
本町に「自分のまち」として愛着を感じている程度は、「愛着を感じている」が44.7%と最も高く、次いで「どちらともいえない」(32.1%)、「とても愛着を感じている」(10.0%)の順となっています。

「とても愛着を感じている」と「愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は54.7%と半数を超えています。



問3 あなたは、今後も板倉町に住み続けたいですか。

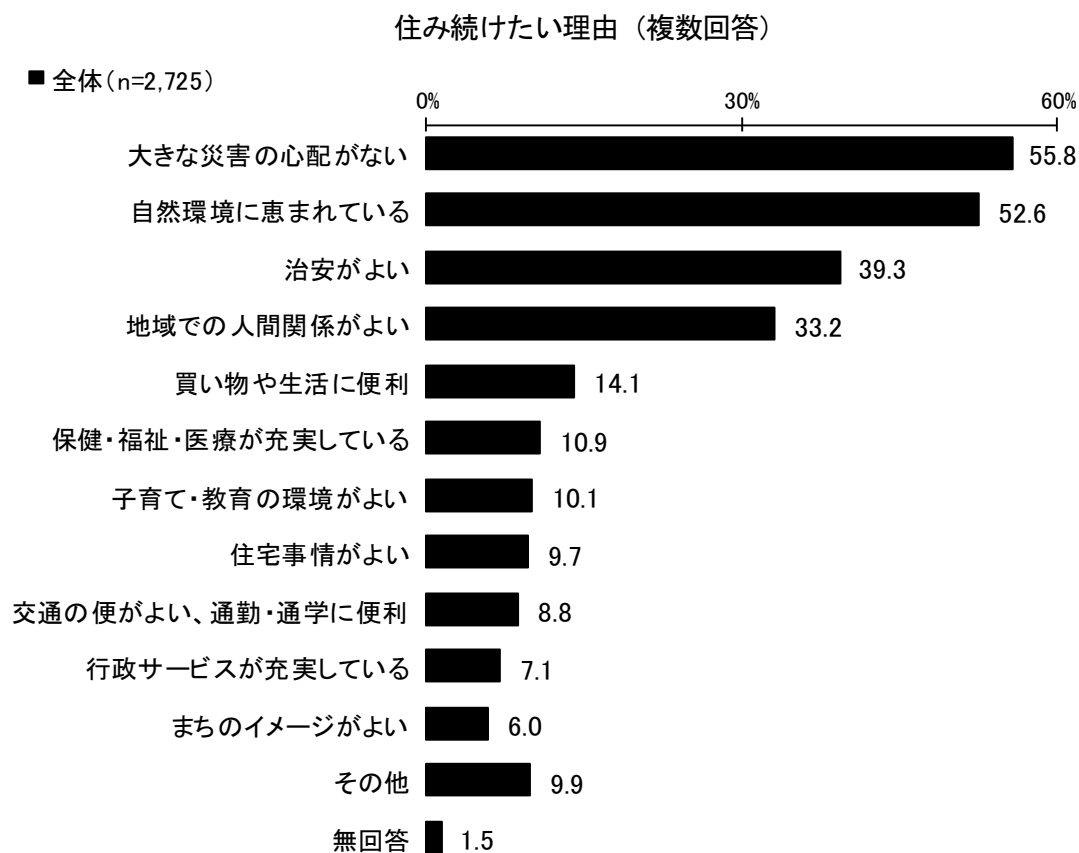
今後も本町に住み続けたいかは、「住み続けたい」が70.8%、「住み続けたくない」が22.1%となっています。



<住み続けたい理由>

問3で「住み続けたい」と回答した人の理由は、「大きな災害の心配がない」が55.8%と最も高く、次いで「自然環境に恵まれている」(52.6%)と、どちらも半数を超えています。

また、「治安がよい」(39.3%)と「地域での人間関係がよい」(33.2%)が、それぞれ3割を超えています。

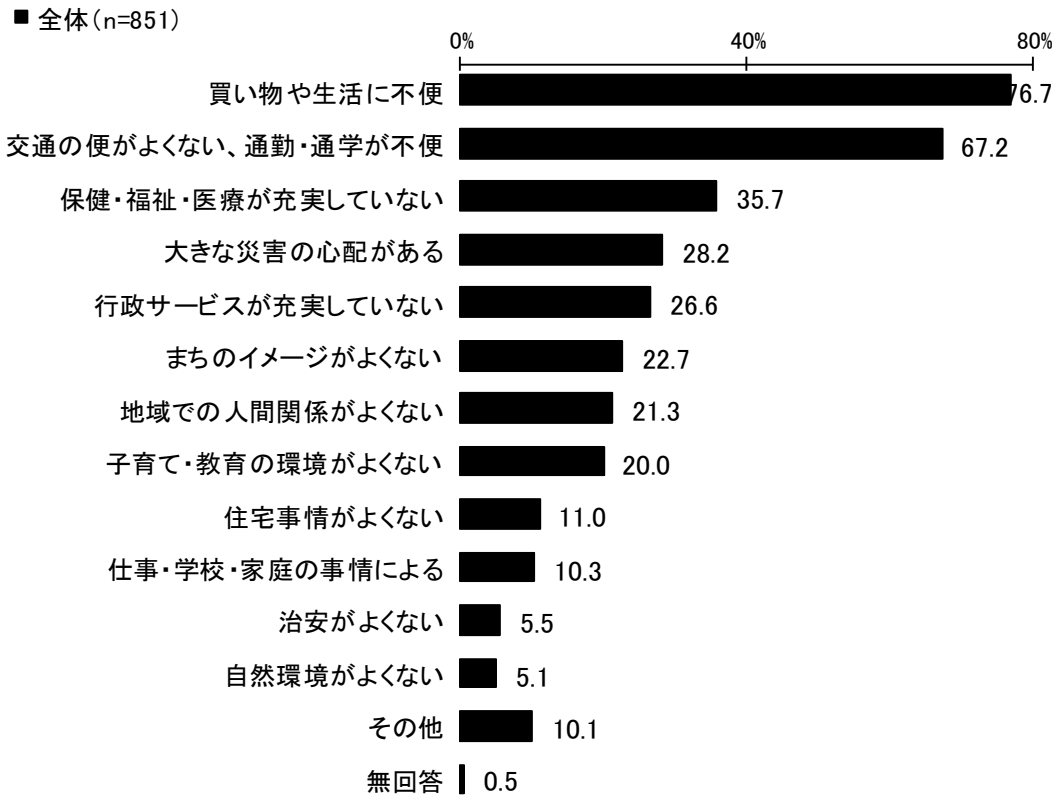


2 調査結果

<住み続けたくない理由>

問3で「住み続けたくない」と回答した人の理由は、「買い物や生活に不便」が76.7%と最も高く、次いで「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」(67.2%)と、どちらも7割前後となっています。また、「保健・福祉・医療が充実していない」が35.7%と、3割を超えています。

住み続けたくない理由（複数回答）



Ⅲ 町が行っている取組への重要度と満足度について

問4 各項目について、あなたの重要度と満足度を選んでください。

(1) 単純集計

町が行っている取組の重要度について、“重要度が高い”（「重要」＋「やや重要」）と“重要度が低い”（「重要でない」＋「あまり重要でない」）に分けてみると、全ての項目において“重要度が高い”方の割合が高くなっています。

“重要度が高い”と判断されているものは、「環境衛生の確保」が81.2%と最も高くなっています。次いで「介護（予防）サービスの充実」（78.9%）、「防犯体制の強化」（77.7%）、「健康の増進」（77.4%）、「災害への備え」（76.2%）、「公共交通の充実」（74.9%）、「子育て支援の充実」（74.8%）、「地域福祉の推進」（73.7%）、「道路網の整備」（73.2%）の順となっており、それぞれ7割を超えています。

満足度について、“満足度が高い”（「満足」＋「やや満足」）と“満足度が低い”（「不満」＋「やや不満」）に分けてみると、“満足度が高い”と判断されているものは、「健康の増進」が47.2%と最も高く、次いで「環境衛生の確保」（43.8%）と「子育て支援の充実」（41.4%）で4割を超えており、「災害への備え」（39.9%）と「介護（予防）サービスの充実」（30.3%）で3割を超えています。

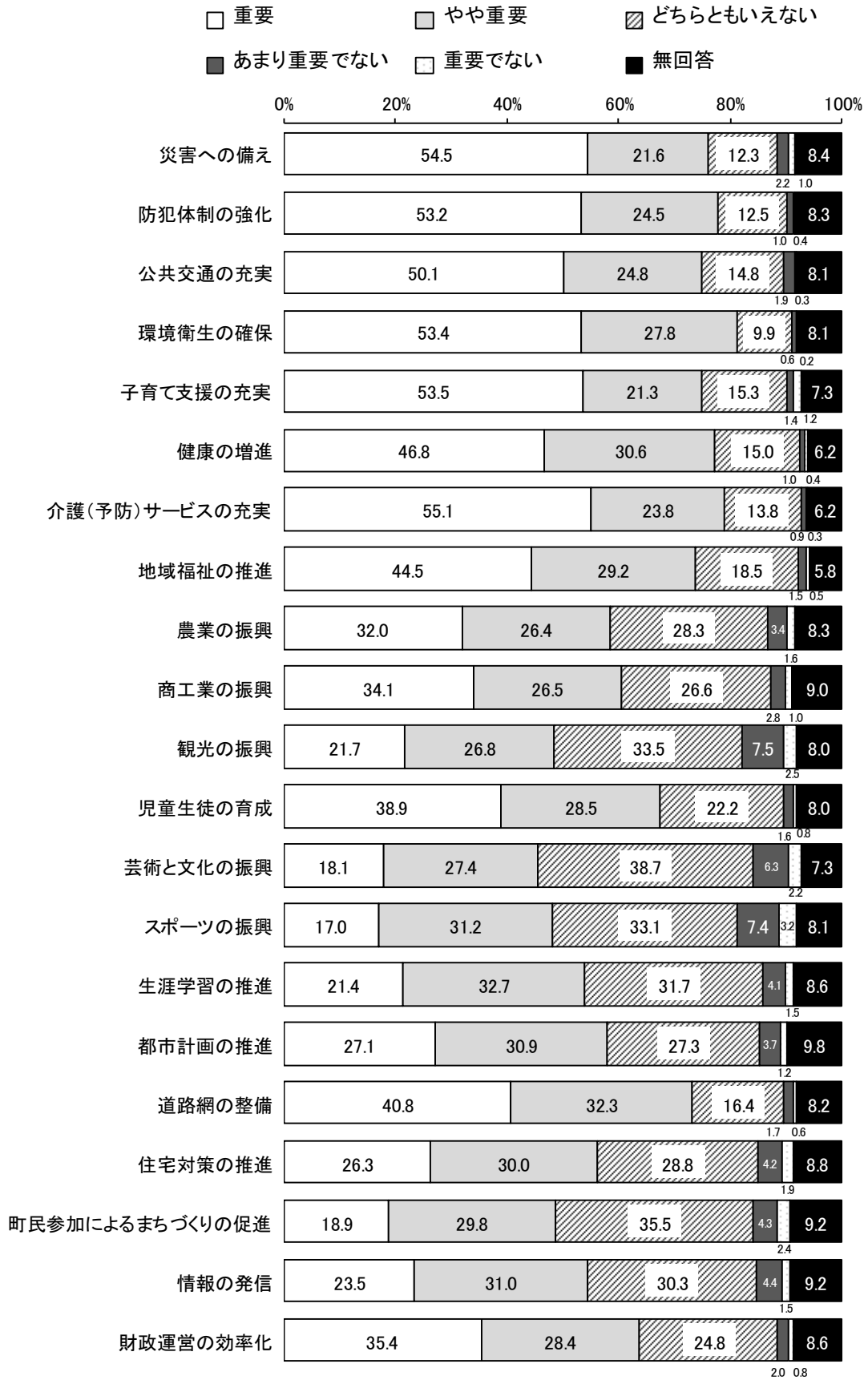
また、“満足度が低い”と判断されているものは、「公共交通の充実」（37.2%）、「道路網の整備」（25.6%）、「防犯体制の強化」（24.8%）の順となっています。

取組に対する重要度と満足度

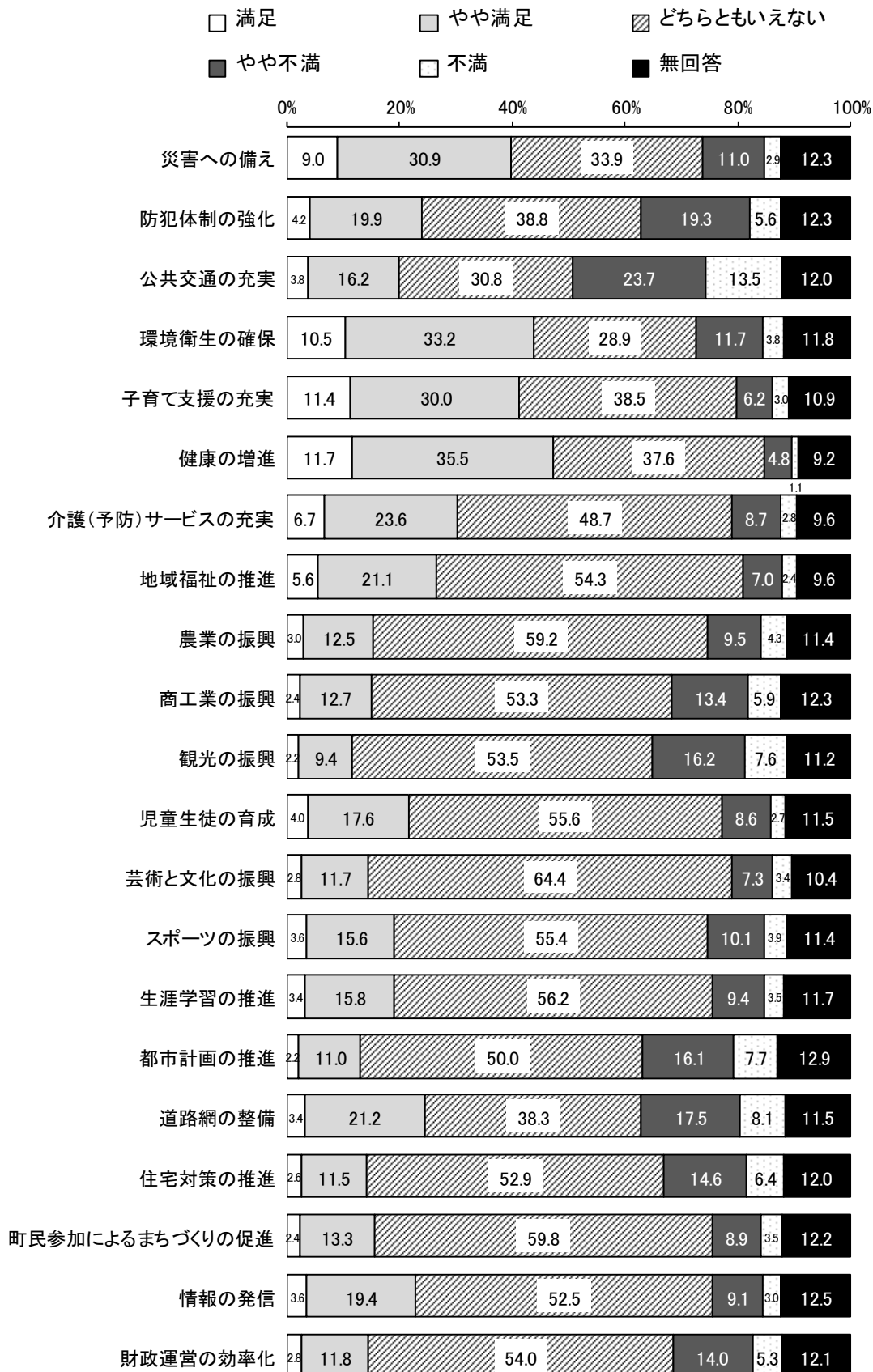
(%)

| | 重要度が高い | 重要度が低い | 満足度が高い | 満足度が低い |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|
| 災害への備え | 76.2 | 3.2 | 39.9 | 13.9 |
| 防犯体制の強化 | 77.7 | 1.4 | 24.1 | 24.8 |
| 公共交通の充実 | 74.9 | 2.2 | 20.0 | 37.2 |
| 環境衛生の確保 | 81.2 | 0.8 | 43.8 | 15.5 |
| 子育て支援の充実 | 74.8 | 2.6 | 41.4 | 9.2 |
| 健康の増進 | 77.4 | 1.4 | 47.2 | 6.0 |
| 介護（予防）サービスの充実 | 78.9 | 1.1 | 30.3 | 11.5 |
| 地域福祉の推進 | 73.7 | 2.0 | 26.7 | 9.4 |
| 農業の振興 | 58.4 | 4.9 | 15.5 | 13.9 |
| 商工業の振興 | 60.6 | 3.7 | 15.1 | 19.4 |
| 観光の振興 | 48.5 | 10.0 | 11.5 | 23.8 |
| 児童生徒の育成 | 67.4 | 2.4 | 21.6 | 11.3 |
| 芸術と文化の振興 | 45.5 | 8.5 | 14.5 | 10.7 |
| スポーツの振興 | 48.2 | 10.6 | 19.2 | 14.0 |
| 生涯学習の推進 | 54.1 | 5.6 | 19.3 | 12.8 |
| 都市計画の推進 | 58.0 | 4.9 | 13.2 | 23.8 |
| 道路網の整備 | 73.2 | 2.3 | 24.6 | 25.6 |
| 住宅対策の推進 | 56.3 | 6.1 | 14.1 | 21.0 |
| 町民参加によるまちづくりの促進 | 48.7 | 6.7 | 15.6 | 12.4 |
| 情報の発信 | 54.6 | 6.0 | 23.0 | 12.1 |
| 財政運営の効率化 | 63.8 | 2.8 | 14.6 | 19.3 |

取組に対する重要度 (n=3,849)



取組に対する満足度 (n=3,849)



(2) 重要度と満足度の関係

まちづくりに対する重要度、満足度について指数化し、指数関係を4象限で表しました。指数の計算方法、図の見方などは下記のとおりです。

■ 指数の算出について

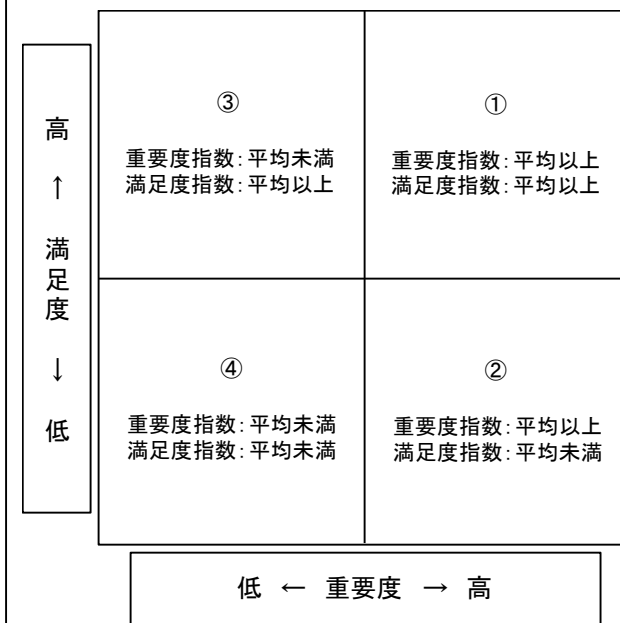
- ・重要度指数は各項目の回答を、「重要」：2点、「やや重要」：1点、「どちらともいえない」：0点、「あまり重要でない」：-1点、「重要でない」：-2点として、その項目に対する回答者数の合計で除した。
- ・満足度指数は各項目の回答を、「満足」：2点、「やや満足」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満」：-1点、「不満」：-2点として、その項目に対する回答者の合計で除した。

(例)「災害への備え」について、347人は「満足」、1188人は「やや満足」、1304人が「どちらともいえない」、424人は「やや不満」、111人は「不満」と回答した。回答者数は3849人中3374人である。
この場合、満足度指数は…

$$(347人 \times 2点 + 1188人 \times 1点 + 1304人 \times 0点 + 424人 \times -1点 + 111人 \times -2点) \div 3374人 = 0.36点$$

- ・図の原点は、21項目ごとに算出した指数の平均（重要度：1.05 満足度：0.06）となっている。

■ 図の見方



①重要度・満足度ともに比較的高い

満足度を低下させないために、現在の水準を維持・向上させることが求められる可能性がある。

②重要度は比較的高いが、満足度が低い

住民の期待に対して十分対応できていないことが考えられ、住民満足度を向上するためにも最も優先して取り組まなければならない可能性がある。

③重要度は比較的低いが、満足度は高い

社会的意義や法律的な義務付けなどへの配慮は必要であるものの、財政状況によっては見直しを行う可能性がある。

④重要度・満足度ともに比較的低い

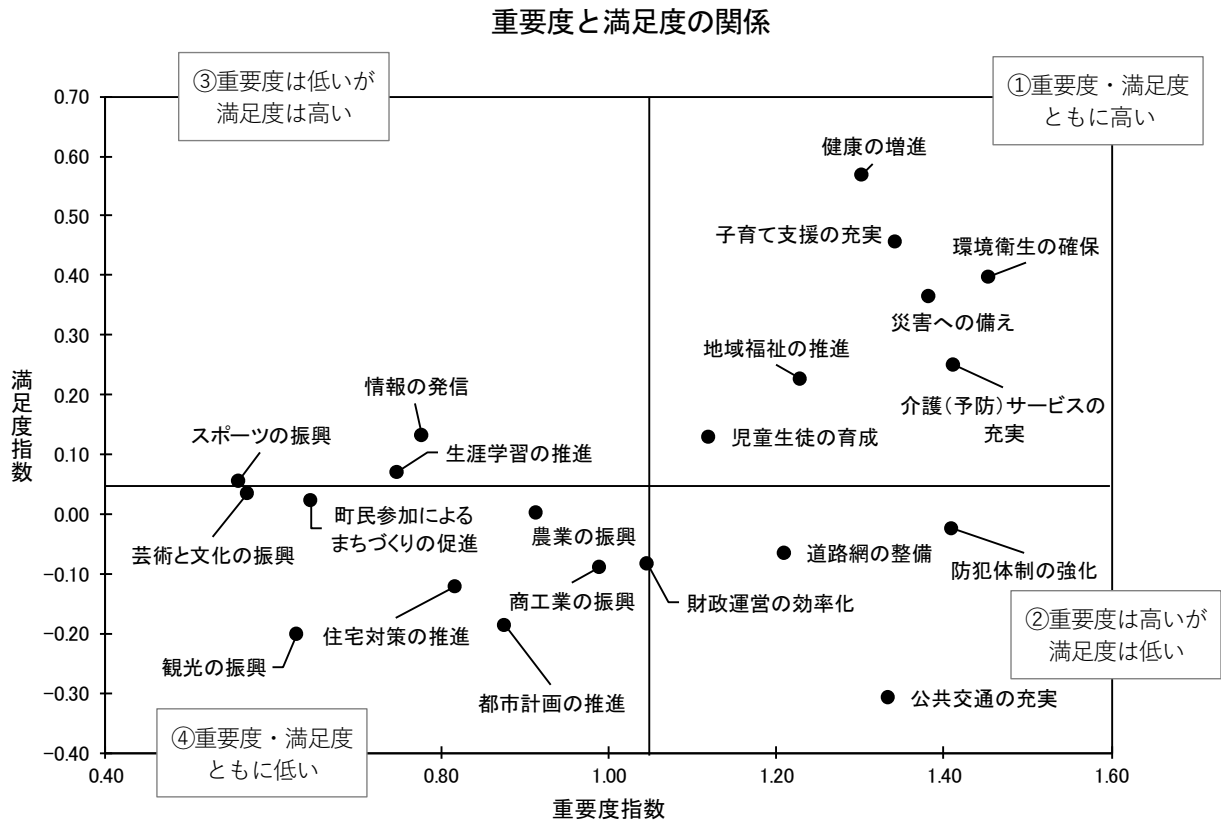
重要度（住民の期待）が低いため、満足度を上げるための対策は必ずしも緊急ではない可能性がある。

重要度と満足度の関係図をみると、「①重要度・満足度ともに高い」項目は、「環境衛生の確保」「健康の増進」「子育て支援の充実」「災害への備え」等が挙げられます。

「②重要度は高いが、満足度は低い」項目は、「防犯体制の強化」「公共交通の充実」「道路網の整備」が挙げられます。

「③重要度は低いが、満足度は高い」項目は、「情報の発信」「生涯学習の推進」「スポーツの振興」が挙げられます。

「④重要度・満足度ともに低い」項目は、「観光の振興」「住宅対策の推進」「都市計画の推進」等が挙げられます。

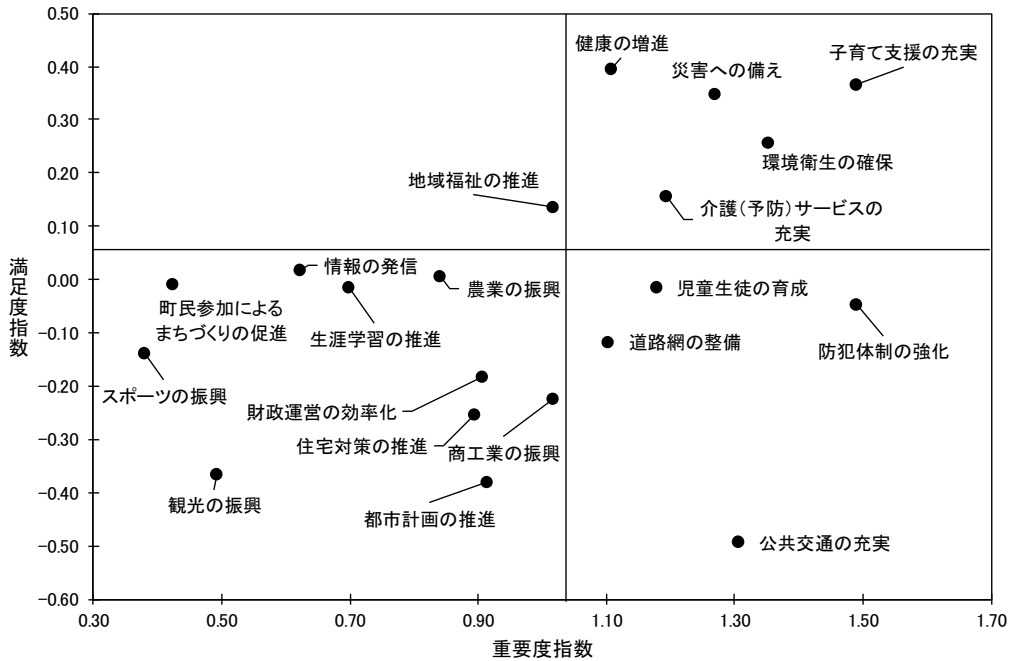


(3) 重要度と満足度の関係 (男性)

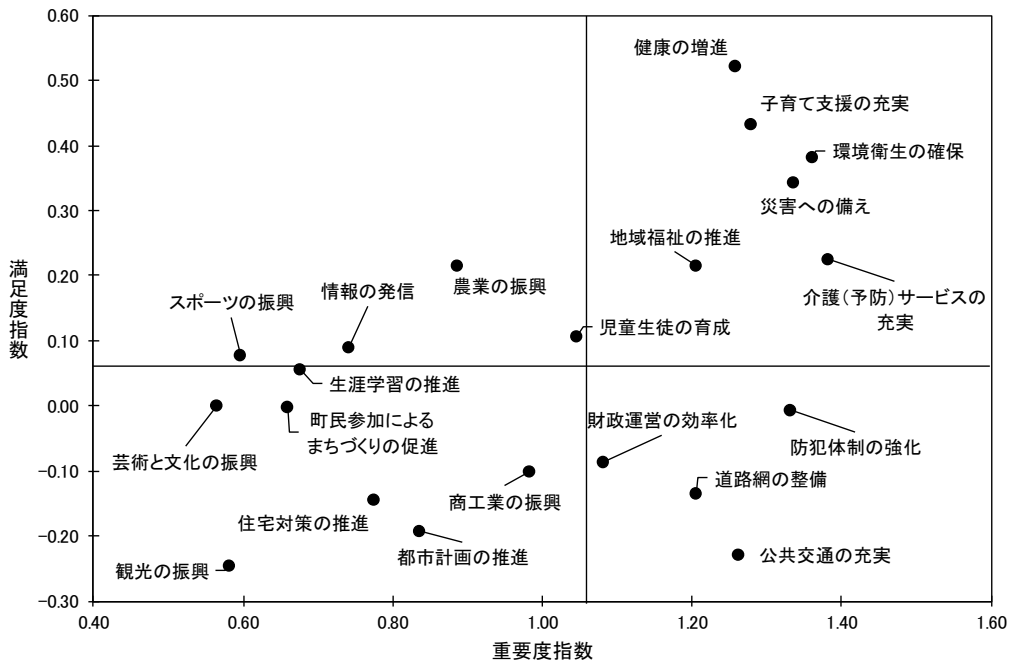
男性の40歳代以下と50歳代以上を比較すると、「重要度・満足度ともに高い」項目では、50歳代以上で「地域福祉の推進」が入っています。「重要度は高いが、満足度は低い」項目では、40歳代以下では「児童生徒の育成」、50歳代以上では「財政運営の効率化」が入っています。

また、「重要度は低いが、満足度は高い」項目では、40歳代以下では「地域福祉の推進」のみなのに対し、50歳代以上では「児童生徒の育成」「農業の振興」「情報の発信」「スポーツの振興」が入っています。

重要度と満足度の関係 (男性 40歳代以下)



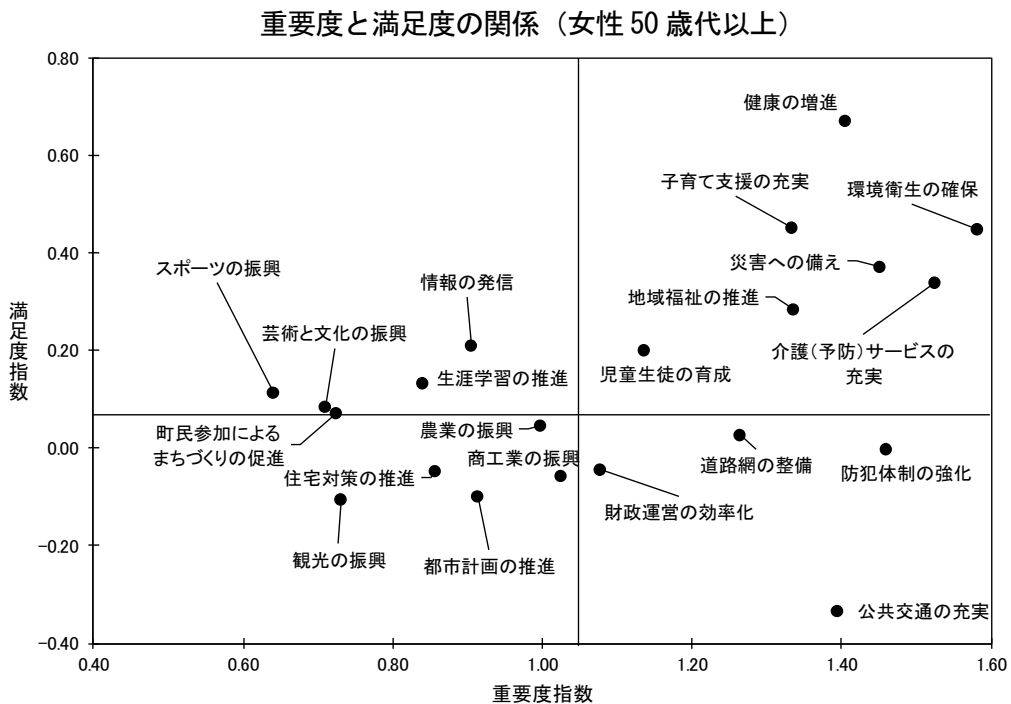
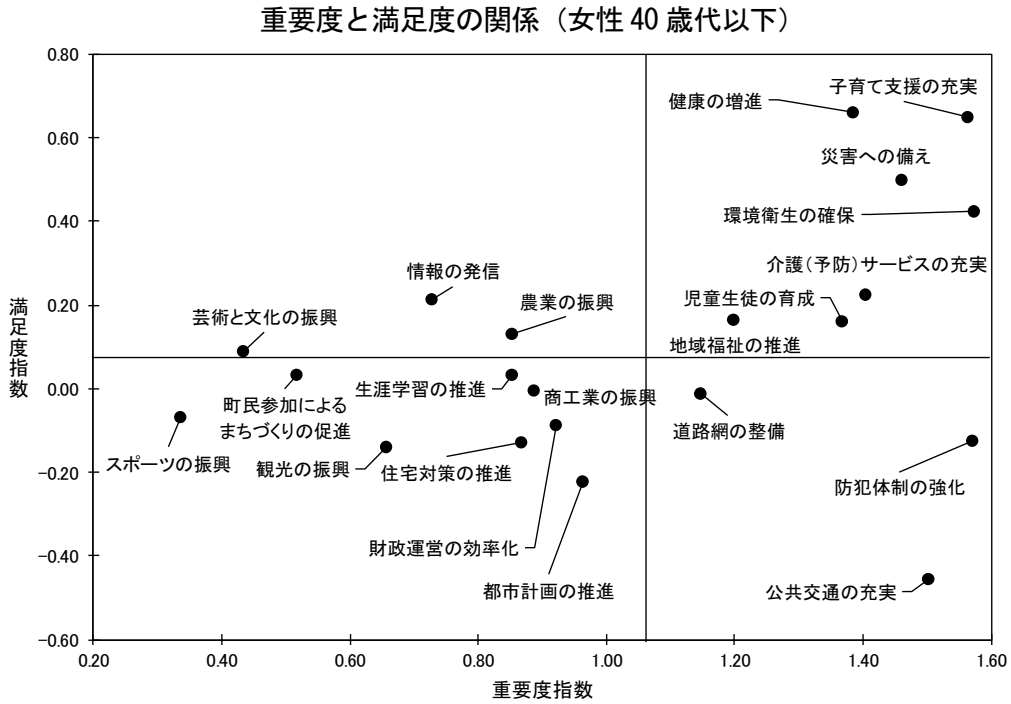
重要度と満足度の関係 (男性 50歳代以上)



(4) 重要度と満足度の関係 (女性)

女性の40歳代以下と50歳代以上を比較すると、「重要度・満足度ともに高い」項目では、どちらも同じ項目が入っています。「重要度は高いが、満足度は低い」項目では50歳代以上では「財政運営の効率化」が入っています。

また、「重要度は低いが、満足度は高い」項目では、40歳代以下では「農業の振興」が入っており、50歳代以上では「生涯学習の推進」「スポーツの振興」が入っています。



(5) 重要度と満足度の上下3項目（男性）

男性の重要度と満足度の上下3項目をみると、重要度の上位3項目は40歳代以下と50歳代以上で違いがみられ、40歳代以下では「子育て支援の充実」や「防犯体制の強化」といった子育て支援に関するものが並んでいます。50歳代以上では「介護（予防）サービスの充実」「環境衛生の確保」「災害への備え」が並んでいます。

満足度の上位3項目では、どちらも「健康の増進」と「子育て支援の充実」が並び、40歳代以下では「災害への備え」、50歳代以上では「環境衛生の確保」が並んでいます。

下位3項目を見ると、重要度では「芸術と文化の振興」「スポーツの振興」が並び、40歳代以下では「町民参加によるまちづくりの促進」、50歳代以上では「観光の振興」が並び、満足度ではどちらも「公共交通の充実」「都市計画の推進」「観光の振興」が並んでいます。

重要度と満足度上位3項目（男性40歳代以下）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|----------|------|----------|------|
| 防犯体制の強化 | 1.49 | 健康の増進 | 0.40 |
| 子育て支援の充実 | 1.49 | 子育て支援の充実 | 0.37 |
| 環境衛生の確保 | 1.35 | 災害への備え | 0.35 |

重要度と満足度上位3項目（男性50歳代以上）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|---------------|------|----------|------|
| 介護（予防）サービスの充実 | 1.38 | 健康の増進 | 0.52 |
| 環境衛生の確保 | 1.36 | 子育て支援の充実 | 0.43 |
| 災害への備え | 1.34 | 環境衛生の確保 | 0.38 |

重要度と満足度下位3項目（男性40歳代以下）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|---------------------|------|---------|-------|
| 芸術と文化の振興 | 0.25 | 公共交通の充実 | -0.49 |
| スポーツの振興 | 0.38 | 都市計画の推進 | -0.38 |
| 町民参加による まちづくりの促進 | 0.42 | 観光の振興 | -0.37 |

重要度と満足度下位3項目（男性50歳代以上）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|----------|------|---------|-------|
| 芸術と文化の振興 | 0.56 | 観光の振興 | -0.25 |
| 観光の振興 | 0.58 | 公共交通の充実 | -0.23 |
| スポーツの振興 | 0.60 | 都市計画の推進 | -0.19 |

(6) 重要度と満足度の上下3項目（女性）

女性の重要度と満足度の上下3項目をみると、重要度の上位3項目は、「環境衛生の確保」と「防犯体制の強化」は同じですが、40歳代以下では「子育て支援の充実」、50歳代以上では「介護（予防）サービスの充実」が並んでいます。

満足度の上位3項目も「健康の増進」と「子育て支援の充実」は同じですが、40歳代以下では「災害への備え」、50歳代以上では「環境衛生の確保」が並んでいます。

下位3項目をみると、重要度ではどちらも「スポーツの振興」「芸術と文化の振興」「町民参加によるまちづくりの促進」が並び、満足度ではどちらも「公共交通の充実」「都市計画の推進」「観光の振興」が並んでいます。

重要度と満足度上位3項目（女性 40歳代以下）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|----------|------|----------|------|
| 環境衛生の確保 | 1.57 | 健康の増進 | 0.66 |
| 防犯体制の強化 | 1.57 | 子育て支援の充実 | 0.65 |
| 子育て支援の充実 | 1.56 | 災害への備え | 0.50 |

重要度と満足度上位3項目（女性 50歳代以上）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|---------------|------|----------|------|
| 環境衛生の確保 | 1.58 | 健康の増進 | 0.67 |
| 介護（予防）サービスの充実 | 1.53 | 子育て支援の充実 | 0.45 |
| 防犯体制の強化 | 1.46 | 環境衛生の確保 | 0.45 |

重要度と満足度下位3項目（女性 40歳代以下）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|---------------------|------|---------|-------|
| スポーツの振興 | 0.34 | 公共交通の充実 | -0.46 |
| 芸術と文化の振興 | 0.43 | 都市計画の推進 | -0.22 |
| 町民参加による まちづくりの促進 | 0.52 | 観光の振興 | -0.14 |

重要度と満足度下位3項目（女性 50歳代以上）

| 項目 | 重要度 | 項目 | 満足度 |
|---------------------|------|---------|-------|
| スポーツの振興 | 0.64 | 公共交通の充実 | -0.33 |
| 芸術と文化の振興 | 0.71 | 観光の振興 | -0.11 |
| 町民参加による まちづくりの促進 | 0.72 | 都市計画の推進 | -0.10 |

(7) 問4の個別事業について（自由意見）

個別事業についての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は633件でした。また、記述内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「交通・道路網関連」が22.9%と最も高く、次いで「施設・環境関連」(19.1%)、「子育て支援・教育関連」(8.5%)の順となっています。

自由意見の割合を年代区分別にみると、40歳代以下では「施設・環境関連」「子育て支援・教育関連」「安全安心関連」で50歳代以上より6ポイント以上高くなっています。

<交通・道路網関連 145件／633件>

道路については、生活圏道路の拡幅、既存道路の計画的な修繕、利根川・渡良瀬川への新橋の建設、等の意見が多くみられました。公共交通については、運転免許証返納者へのデマンドバスなどのサービスや板倉東洋大前駅に停車する電車の増加に関する要望といった意見が見られました。

<施設・環境関連 121件／633件>

新規に建設を要望する施設として、公共施設では温水プール、図書館、大型公園などが見られました。民間施設としては、駅前の開発や、大型ショッピングセンター、病院、スポーツジム、銀行などの誘致を希望する意見が多く見られました。環境関連では、公園の駐車場整備、遊歩道、水路や池などの整備を希望するといった意見が見られました。

<子育て支援・教育関連 54件／633件>

子育て関連では、子どもに対する手当支給期間の長期化、給食費無料化の継続、小学校の敷地内に学童保育を併設させることや、学童保育料の値下げについての意見がありました。教育に関しては、児童に読書習慣を身につけさせることや、習い事教室の月謝に関すること、教室におけるエアコンの温度設定に関することなど、多方面にわたる意見が見られました。

<災害関連 48件／633件>

ハザードマップを更に細かくし2階まで浸水する家庭を明らかにすること、防災ラジオの2次的利用に関すること、避難訓練で避難所として設定してある場所に実際避難すると助からないことから避難訓練を実践に即した方法に変更したほうがいいなど、水害に関連する意見が見られました。

<高齢・福祉・障害関連 40件／633件>

障害者の賃金引き上げ、介護サービス付町営住宅の建設、特別養護老人ホームやグループホームの入所待ち対策、高齢者のみ世帯の交通手段やごみ捨てなど生活するためのサービス強化に関する要望などが見られました。

<安全安心関連 41件／633件>

防犯カメラ・防犯灯の増設、児童生徒の登下校時の交通安全強化などに関する要望が見られました。また、近所のかたの名前と顔などが分からないことから、地域でコミュニケーションをとる機会の創出を希望する意見などが見られました。

<農業関連 25件/633件>

農業の振興を謳うわりに参入障壁が高いこと、6次産業化に関すること、板倉ブランドとして確立できるような珍しい作物を栽培すること、土地改良事業に対する賛辞、高齢化による農地管理の困難化などの意見が見られました。

<医療・健康関連 24件/633件>

館林厚生病院に産科・小児科を設置し医療充実化を図ること、健康づくりのまち宣言をした効果検証の公開、手術・入院を可能とする総合病院の誘致、認知症対策、健康エンジョイポイントへの賛辞などの意見が見られました。

<観光関連 16件/633件>

スーパー銭湯、書店、コスモス畑、ひまわり畑、企業と連携した大型図書館、温泉掘削、タワーを建設し複合施設を誘致、雷電神社周辺整備、フィルムコミッション、など多方面にわたる意見が見られました。

<スポーツ振興関連 15件/633件>

体育祭やスポーツフェスティバルを実施しないで欲しいという意見が見られました。また、小学校のプールを室内にして欲しいという意見が見られました。

<空家対策関連 10件/633件>

空き家対策としてリフォームした空き家を町が借り受け、希望者に貸し出すということ、特定空き家を解体する場合、町が公費負担すること、空き家対策が不十分であるという苦情、などが見られました。

<文化・芸術関連 9件/633件>

ホールや会館でのイベントの増加、ピアノフェスティバル等を通じたピアノ文化の充実、ゴールデンウィークやお盆に公民館が休館であることへの苦情、近接県内(含他県)施設のイベントの割引券を発行して鑑賞の機会を増やすといった提案、などの意見が見られました。

<上記以外の町政について 94件/633件>

行政に携わる人が先進自治体に学び変えていかないと板倉町は遅れてしまい活気のない町になり若い人がいなくなる、町の取り組みを町民に伝えなければ意味がない、図書が充実していると思えない、ニュータウンの販売促進に不満、太陽光発電で発電した電気を無料で使えるようにして欲しい、行政に関わる人たちに一定の評価はするもののオリジナリティに欠けるので板倉町独自のカラーを出して欲しい、公民館の講座を納税者である働き盛り世代が利用できる時間に開催して欲しい、など多方面にわたるご意見が見られました。

<その他 92件/633件>

限界集落になってしまう恐れがあるため人集めに成功した地方を参考にして知恵を出して欲しい、今のままでは高齢者が住みやすい町とは言えない、若い人たちが年をとってから戻ってきたいと思

2 調査結果

うようなまちづくりをして欲しい、可燃性粗大ごみを館林クリーンセンターに持ち込むのは大変なので板倉リサイクルセンターに持ち込めるようにし町が館林クリーンセンターに運ぶようにして欲しい、駅前には町役場も郵便局も遠く銀行も撤退して不便なので、駅前に住んだことを後悔している、といった意見が見られました。

個別事業について（年齢区分別）

| | | 単位 | 合計 | 交通・道路網関係 | 施設・環境関連 | ・子育て支援 | 災害関連 | ・高齢者・福祉 | 安全安心関連 | 農業関連 | 医療・健康関連 |
|--------|--------|-------|-------|----------|---------|--------|------|---------|--------|------|---------|
| 全体 | | n | 633 | 145 | 121 | 54 | 48 | 40 | 41 | 25 | 24 |
| | | % | 100.0 | 22.9 | 19.1 | 8.5 | 7.6 | 6.3 | 6.5 | 3.9 | 3.8 |
| 年齢区分別 | 40歳代以下 | n | 149 | 42 | 36 | 24 | 5 | 11 | 17 | 2 | 6 |
| | | % | 100.0 | 28.2 | 24.2 | 16.1 | 3.4 | 7.4 | 11.4 | 1.3 | 4.0 |
| 50歳代以上 | n | 474 | 100 | 84 | 30 | 43 | 28 | 23 | 23 | 18 | |
| | % | 100.0 | 21.1 | 17.7 | 6.3 | 9.1 | 5.9 | 4.9 | 4.9 | 3.8 | |

| | | 単位 | 合計 | 観光関連 | スポーツ振興関連 | 空家対策関連 | 文化・芸術関連 | ついでに 上記以外の町政に | その他 | 特になし |
|--------|--------|-------|-------|------|----------|--------|---------|------------------|------|------|
| 全体 | | n | 633 | 16 | 15 | 10 | 9 | 94 | 92 | 12 |
| | | % | 100.0 | 2.5 | 2.4 | 1.6 | 1.4 | 14.8 | 14.5 | 1.9 |
| 年齢区分別 | 40歳代以下 | n | 149 | 3 | 8 | 0 | 1 | 15 | 13 | 1 |
| | | % | 100.0 | 2.0 | 5.4 | 0.0 | 0.7 | 10.1 | 8.7 | 0.7 |
| 50歳代以上 | n | 474 | 13 | 6 | 10 | 8 | 75 | 79 | 11 | |
| | % | 100.0 | 2.7 | 1.3 | 2.1 | 1.7 | 15.8 | 16.7 | 2.3 | |

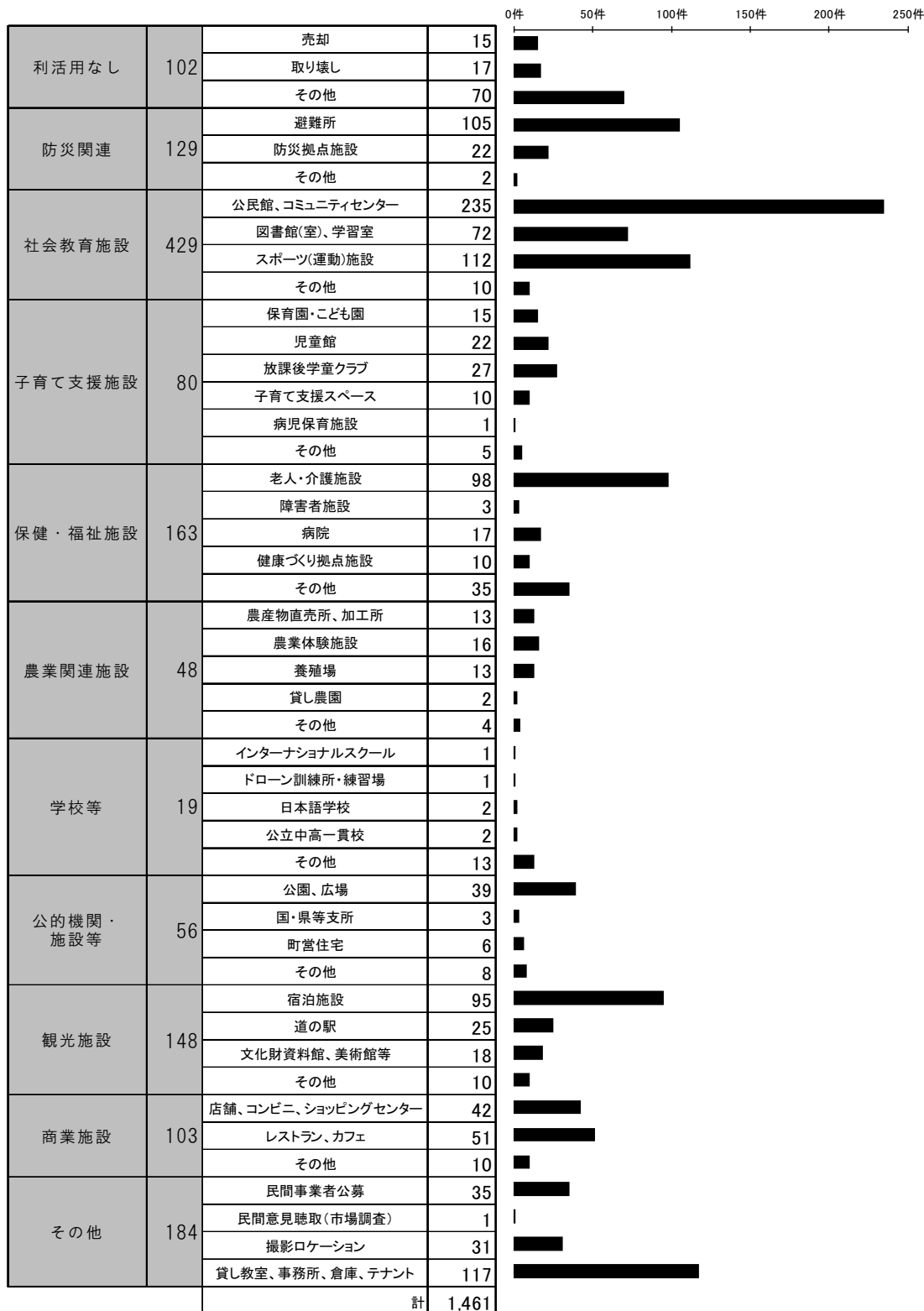
※網掛け部分は、比率が最も高い項目

IV 公共施設の利活用について

問5 小学校統合後の廃校後の利活用案について（自由意見）

小学校統合後の廃校後の利活用案についての自由意見（総件数：969件）の内容を分類し、その回答内容を集計しました。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

廃校になる小学校の利活用案（分野別件数）

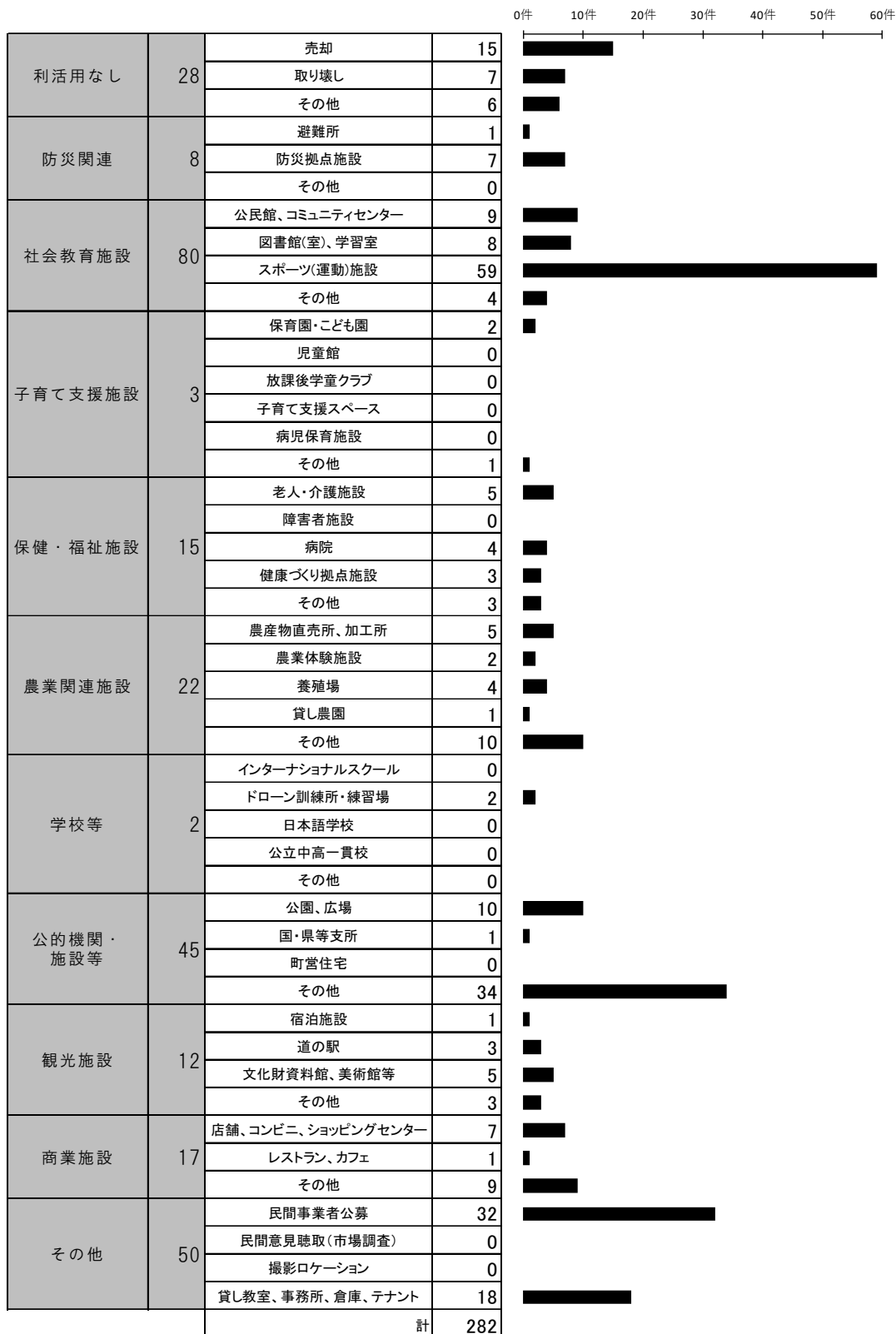


2 調査結果

問6 資源化センターの利活用案について（自由意見）

資源化センターの利活用案についての自由意見（総件数：506件）の内容を分類し、その回答内容を集計しました。また、回答内容ごとの件数を足し上げて、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。なお、利活用に関する意見は282件であり、その他の意見が多くありました。

資源化センターの利活用案（分野別件数）



V その他

問7 板倉町の好きなところやもっとPRできるところについて（自由意見）

板倉町の好きなところやもっとPRできるところについての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は567件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「環境の良さ」が31.7%、「PRについての提案」が22.6%、「環境・施設等の改善・要望」が20.3%となっています。

年齢区分別の意見の割合に大きな違いは見られませんでした。

<環境の良さ 180件/567件>

遊水地等の自然の豊かさそれに伴うのどかさ、都心へのアクセスが良い、景観がよい、都会のようにギスギスしていない、大きな事件と災害がない、といった意見が見られました。

<PRについての提案 128件/567件>

町の特産品や自然の豊かさ、子育て支援の充実等の他市町村と比べ誇ることができることをもっとPRしてほしい、といった意見が見られました。

<環境・施設等の改善・要望 115件/567件>

既存施設や環境の整備・改善、住みやすいまちを目指すために必要だと思われることを実施していくことの意見が見られました。

<資源の利活用 49件/567件>

雷電神社、高鳥天満宮、渡良瀬遊水地、水郷公園、ふれあい公園、いずみの公園、なまず料理などの資源を利活用し、もっとPRできる、といった意見が見られました。

<住民の人柄 24件/567件>

地域コミュニティがある、人々が優しい、ほっと一息できる、住民の仲も良い、といった意見が見られました。

<食べ物の美味しさ 15件/567件>

米・野菜がおいしい、川魚がおいしい、お水がおいしい、といった意見が見られました。

<その他 100件/567件>

しっかりと企画して町の発展をお願いしたい、農業目的の移住者を迎える体制を整えるべき、子供の居場所、遊び場も他の市に行かないとない印象がある、といった意見が見られました。

2 調査結果

板倉町の好きなところやもっとPRできるところについて（年齢区分別）

| | | 単位 | 合計 | 環境の良さ | P R について | 環境・施設等の改善・要望 | 資源の利活用 | 住民の人柄 | 食べ物の美味しさ | その他 | 特になし |
|-------|--------|----|-------|-------|----------|--------------|--------|-------|----------|------|------|
| 全体 | | n | 567 | 180 | 128 | 115 | 49 | 24 | 15 | 100 | 32 |
| | | % | 100.0 | 31.7 | 22.6 | 20.3 | 8.6 | 4.2 | 2.6 | 17.6 | 5.6 |
| 年齢区分別 | 40歳代以下 | n | 141 | 46 | 31 | 25 | 11 | 2 | 4 | 30 | 6 |
| | | % | 100.0 | 32.6 | 22.0 | 17.7 | 7.8 | 1.4 | 2.8 | 21.3 | 4.3 |
| | 50歳代以上 | n | 417 | 129 | 97 | 89 | 38 | 21 | 11 | 68 | 25 |
| | | % | 100.0 | 30.9 | 23.3 | 21.3 | 9.1 | 5.0 | 2.6 | 16.3 | 6.0 |

※網掛け部分は、比率が最も高い項目

問8 板倉町がめざすまちづくりについて（自由意見）

板倉町がめざすまちづくりについての自由意見の内容を分類し、その回答内容の一部を記載します。総件数は609件でした。また、回答内容ごとの件数を足し上げても、1つの意見で複数に分かれているものもあるため、総件数とは一致しません。

記述内容をまとめると、「環境や施設等の整備・改善」が20.0%と最も高く、次いで「人が集まり活気づくまちづくり」(14.3%)、「産業の開拓・整備」(13.0%)の順となっています。

年齢区分別に意見の割合をみると、40歳代以下では50歳代以上より「子ども・子育て支援」「住民の意識の変化」で5ポイント以上高く、50歳代以上では40歳代以下より「高齢者支援」が4ポイント以上高くなっています。

<環境や施設等の整備・改善 122件/609件>

商業施設等の誘致により住民がより便利に暮らせるようになることや、働き場所の確保や自然との共存といった意見が見られました。

<人が集まり活気づくまちづくり 87件/609件>

さまざまなイベントの開催、町の文化・歴史・特徴をふまえた個性あるまちづくりといった意見が見られました。

<産業の開拓・整備 79件/609件>

商業施設や医療環境の充実、企業誘致、既存事業のブランド化といった意見がみられました。

<高齢者支援 56件/609件>

運転免許証を返納した後の交通手段の確保など、高齢者が住みやすいまちづくりといった意見が見られました。

<安全・安心なまちづくり 40件/609件>

もっと防災に力を入れる、交通マナーの改善、子供達を地域で見守るなど、より安全安心なまちづくりといった意見が見られました。

<行政への意見 35件/609件>

効果的に税金を使う、変革に挑戦していく、もっと明るい未来を創造するまちづくりといった意見が見られました。

<子ども・子育て支援 33件/609件>

小さな子供が遊べる施設をもっと充実、若い方が移住したいと思わせる魅力あるポイントを具体化するまちづくりといった意見が見られました。

<合併について 32件/609件>

合併のメリット、デメリットを町民に具体的に示して、合併を判断してほしいといった意見が見られました。

<環境の良さ 31件/609件>

自然が豊かな土地を生かしやすらぎが感じられる、平和でおだやか、住んでみたくなるまちづくりといった意見が見られました。

<住民の意識の変化 26件/609件>

新たに住む世帯の人たちにわかりやすくやさしいまちづくりといった意見が見られました。

<その他 97件/609件>

各スポーツ団体を応援・バックアップできる体制が必要である、長期的な事業に力を入れてほしい、核家族や共働き世帯でも不自由なく暮らせる町にしてほしい、といった意見が見られました。

板倉町がめざすまちづくりについて（年齢区分別）

| | | 単位 | 合計 | 環境や施設等の整備・改善 | 人が集まり活気づくまちづくり | 産業の開拓・整備 | 高齢者支援 | 安心・安全なまちづくり | 行政への意見 | 子ども・子育て支援 | 合併について |
|--------|--------|-------|-------|--------------|----------------|----------|-------|-------------|--------|-----------|--------|
| 全体 | | n | 609 | 122 | 87 | 79 | 56 | 40 | 35 | 33 | 32 |
| | | % | 100.0 | 20.0 | 14.3 | 13.0 | 9.2 | 6.6 | 5.7 | 5.4 | 5.3 |
| 年齢区分別 | 40歳代以下 | n | 155 | 36 | 20 | 24 | 9 | 11 | 5 | 16 | 6 |
| | | % | 100.0 | 23.2 | 12.9 | 15.5 | 5.8 | 7.1 | 3.2 | 10.3 | 3.9 |
| 50歳代以上 | n | 446 | 84 | 67 | 54 | 45 | 29 | 29 | 17 | 25 | |
| | % | 100.0 | 18.8 | 15.0 | 12.1 | 10.1 | 6.5 | 6.5 | 3.8 | 5.6 | |

| | | 単位 | 合計 | 環境の良さ | 住民の意識の変化 | その他 | 特になし |
|--------|--------|-------|-------|-------|----------|------|------|
| 全体 | | n | 609 | 31 | 26 | 97 | 7 |
| | | % | 100.0 | 5.1 | 4.3 | 15.9 | 1.1 |
| 年齢区分別 | 40歳代以下 | n | 155 | 7 | 13 | 17 | 2 |
| | | % | 100.0 | 4.5 | 8.4 | 11.0 | 1.3 |
| 50歳代以上 | n | 446 | 23 | 13 | 80 | 5 | |
| | % | 100.0 | 5.2 | 2.9 | 17.9 | 1.1 | |

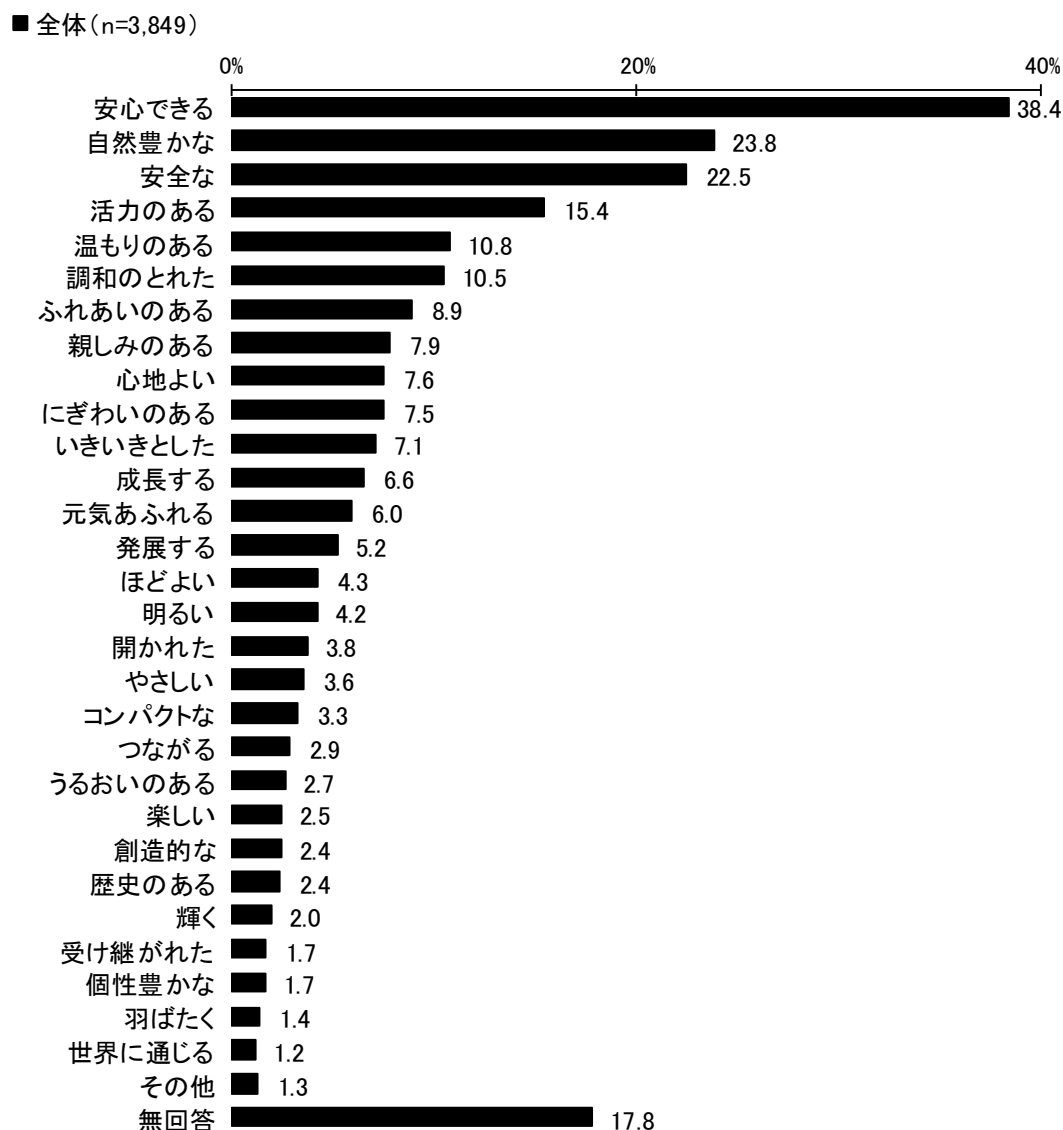
※網掛け部分は、比率が最も高い項目

問9 まちづくりを進めていくにあたり、あなたのイメージに近いキーワード

これからのまちづくりを進めていく上でのキーワードとして、「安心できる」が38.4%で最も高く、次いで「自然豊かな」(23.8%)、「安全な」(22.5%)の順となっています。

そのほか、「活力のある」(15.4%)、「温もりのある」(10.8%)、「調和のとれた」(10.5%)で、それぞれ1割以上となっています。

まちづくりを進めていくためのキーワード（複数回答）



3 合併に関する意識調査

問1 合併についての考え

平成28年7月15日、第1回の館林市・板倉町合併協議会が開催されてから、全52項目ある合併協定項目の協議が始まりました。その中で「合併の方式」、「新市の名称」や「新市の事務所の位置」など、29の合併協定項目が審議決定されました。

しかし、板倉町のみで実施している学校給食費の無料化や子育て支援金の支給や高校生の入院時の医療費と食事代の無料化、行政区への助成金額は板倉町の方が高いこと、館林市のみで課税されている都市計画税（※）の取り扱いなど、両市町において住民サービスなどに大きな違いのある事項について、調整が難航し、それぞれの住民サービスを調整することはできませんでした。そして、平成31年1月31日の第15回合併協議会において、おおむね3年間の休止が決定されました。

（※）都市計画税・・・市街化区域内にある土地や建物の所有者に課税される税。

上記のことをふまえた上での考えは、「住民サービスが低下するのであれば、館林市との合併に反対」が27.8%と最も高く、次いで「住民サービスが低下しなければ、館林市との合併に賛成」(21.7%)、「住民サービスに関係なく、館林市との合併に反対」(20.4%)となっています。

なお、条件にかかわらず賛成・反対に分けてみると、『合併に賛成』が32.0%、『合併に反対』が48.2%となっています。

年齢区分別では、40歳代以下で『合併に反対』が54.4%と、50歳代以上の47.1%に比べ高くなっています。

合併についての考え（全体及び年齢区分別）

- 住民サービスに関係なく、館林市との合併に賛成
- 住民サービスが低下しなければ、館林市との合併に賛成
- 住民サービスが低下するのであれば、館林市との合併に反対
- 住民サービスに関係なく、館林市との合併に反対
- 無回答



問2 館林市との合併について（自由意見）

総件数 826 件の様々な意見がありました。その内容の一部を記載します。

- ・合併したらどういうメリットがあるのか、合併しなければどういう不都合があるのか、具体的に分かりやすく説明しないと、合併の賛否についてはどちらとも言えない。
- ・今後人口減少が進むので、10年20年先を見据えると合併は必要と思う。
- ・合併して「市」になることで知名度が上がり、板倉ニュータウンの分譲がすすむのではないかと。「郡」は田舎のイメージである。
- ・サービスの低下があったとしても、中長期的な視点から鑑みた場合、板倉町が単独で存続していくことは困難であり、館林市との合併は避けられないのではないかと。
- ・3年間の休止ではなくはっきりと「合併しない」という判断が重要である。
- ・サービスが低下するのは困る。
- ・板倉町でできることが沢山あるのであれば無理に合併する必要はない。
- ・住みやすい町であり「板倉町」がなくなるのは淋しい。
- ・今までに合併した町の人に聞くと、良かったという意見は少ない。
- ・今のままで不都合があるのか。わざわざ合併しなくてもいいと思う。誰にとっての合併なのか、デメリットが1つでもあれば前の方が良かったと思ってしまう。
- ・合併するのであれば、例えば邑楽郡全体で考えたい。館林市と2つではあまりにも違うところで対立するだけで前に進まない。
- ・編入合併となると、板倉町の意見が取り入れられなくなり、発展しなくなることが考えられる。
- ・住民サービスの違いは、両市町が歩み寄るべきである。

4 調査結果のまとめ

(1) 回答者の属性について

男性が54.9%とやや多く、年齢は50歳代以上が約8割を占めています。また、居住年数は「50年以下」から「71年以上」の方が56.5%と、41年以上住んでいる方が半数を超えています。

家族構成は、夫婦世帯が33.2%、2世代家族が32.8%と、この2つの構成が6割以上となっており、単身世帯(15.9%)や3世代家族(8.4%)は少なくなっています。

(2) 町のことについて

町の暮らしやすさについて、「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせた『暮らしやすい』は44.6%、「暮らしにくい」と「やや暮らしにくい」を合わせた『暮らしにくい』は28.2%となっています。また、「自分のまち」として愛着を感じている程度は、「とても愛着を感じている」と「愛着を感じている」を合わせた『愛着を感じている』は54.7%と、町は暮らしやすく愛着も感じている人が多いと言えます。

今後も板倉町に住み続けたいと回答した人は70.8%で、その理由は「大きな災害の心配がない」と「自然環境に恵まれている」で半数を超え、「治安がよい」と「地域での人間関係がよい」も3割を超えています。

反面、住み続けたくないという理由として、「買い物や生活に不便」が76.7%、「交通の便がよくない、通勤・通学が不便」が67.2%と、この2つが多くを占めています。

(3) 町が行っている取組について

取組への重要度と満足度については、上記の住み続けたい・住み続けたくない理由と関連している傾向がみられます。

重要度・満足度ともに高い項目としては、「環境衛生の確保」「健康の増進」「子育て支援の充実」「災害への備え」「介護(予防)サービスの充実」「児童生徒の育成」が挙げられており、引き続き推進していくことが求められます。

重要度は高いが満足度が低い項目としては、「防犯体制の強化」「公共交通の充実」「道路網の整備」が挙げられており、50歳代以上では「財政運営の効率化」も加わります。

住み続けたくない理由の「買い物や生活に不便」や「交通の便がよくない」というのは、「公共交通の充実」や「道路網の整備」とも結びつくため、公共交通や道路網の充実を図ることが生活の利便さにつながり、住み続けたくない理由も変化していくことが考えられます。

そのほか、重要度にかかわらず満足度が低いものとして、「観光の振興」や「都市計画の推進」が挙げられていることから、広報や周知等も含め、重点的に推進していくものとして検討をしていく必要があります。

今後のまちづくりを進めていく上でのキーワードとして、「安心できる」が38.4%、「自然豊かな」が23.8%、「安全な」が22.5%と、安全安心を原則として、自然との調和や豊かさを残しながら活力や温もりのあるまちづくりを目指すことが求められています。

まちづくり町民アンケート
調査報告書

令和元年11月
板倉町

〒374-0192 群馬県邑楽郡板倉町大字板倉2682番地1
板倉町役場 企画財政課 企画調整係
TEL : 0276-82-1111 (代表)